

ご存じですか？

とう によろ びよう し しゅう びよう 糖尿病と歯周病

その密接な関係

糖尿病とは、インスリンが足りなかったり、充分はたらかないことにより、血糖値が高くなってしまふ病気です。初期には自覚症状が少なく、気付にくいのが特徴。

重症化し、合併症（網膜症、腎症、神経障害、心筋梗塞、脳梗塞など）が現れてきて初めて気がつくことも多い、たいへん怖い病気です。



糖尿病

血液のめぐりが悪くなる

血管がもろくなる

体の抵抗力が弱くなる

●糖尿病がある人は、歯周病になりやすく、重症化しやすい。

歯周病菌に感染しやすくなる

歯周病は、糖尿病の6番目の合併症といわれています！

インスリンの効き目が悪くなる

●歯周病がある人は、糖尿病の治療が困難になりやすい。

歯周病

歯周病菌の内毒素や炎症に関わる物質の増加

血液中のTNF- α が増加

TNF- α
慢性の炎症があるところで作られるたんぱく質。インスリンの働きをさまたげる作用がある。

歯周病とは、歯と歯肉の境目の溝（歯周ポケット）で、歯周病菌が増え過ぎることにより起きる病気です。歯周病菌は内毒素やいろいろな有害物質を出して炎症を引き起こします。炎症が増大した結果、歯を支えている歯肉や骨が破壊されます。初期には痛みがほとんどないので気付にくいのですが、放置すると、歯肉の腫れや出血、排膿を繰り返し、歯を支える骨が溶けて、歯が抜けてしまいます。歯周病が進行すると、全身のいろいろな所にも影響が及びます。

